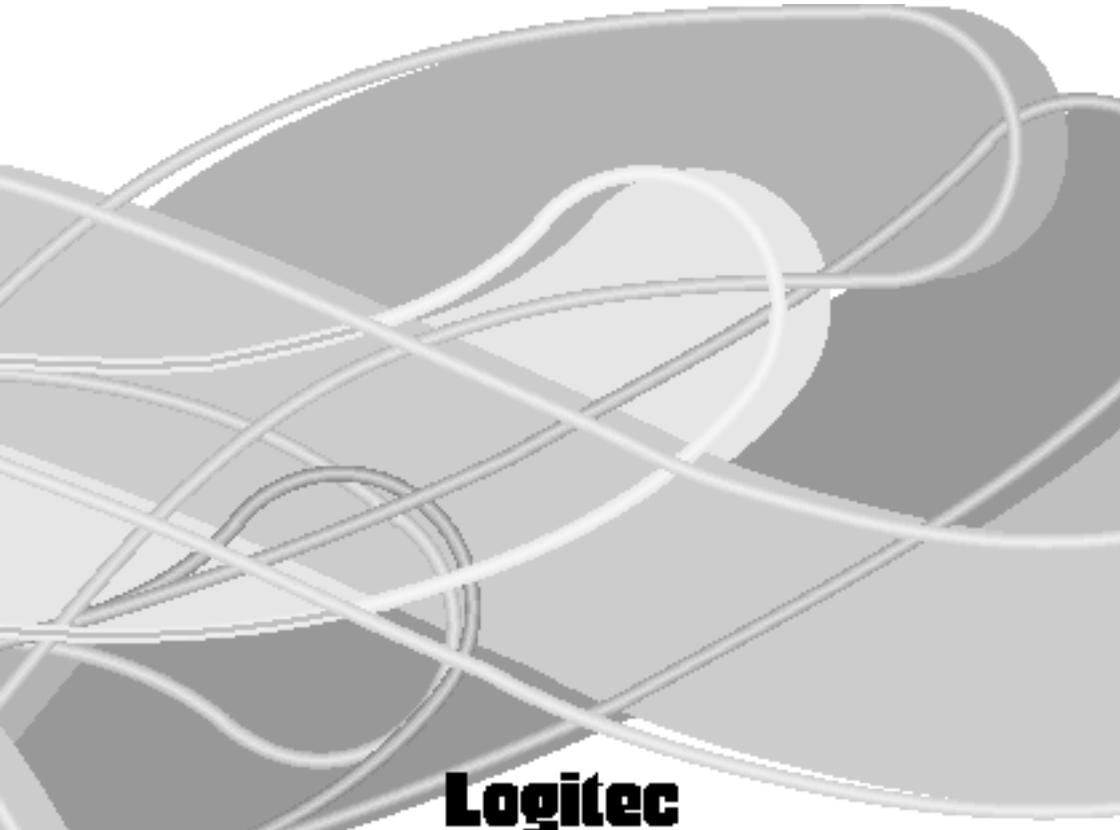


LMO-PBA630U V03

USB MO UNIT

MOユニット ユーザーズマニュアル

LMO-PBA630U



Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	5
ごあいさつ	6
ご注意	6
第1章 製品のご紹介	7
1.1 製品の特徴	7
1.2 使用環境について	8
1.3 使用可能なメディアについて	9
1.4 各部の名称と機能	10
1.5 設置方向について	11
第2章 Windows Me, 98 の場合	12
2.1 接続について	12
2.2 ドライバのインストール	13
2.3 ソフトウェアのインストール	15
2.4 フォーマットについて	16
2.5 メディアのセットと取り出し	17
2.6 本製品を取り外す場合は	18
第3章 Windows XP, 2000 の場合	19
3.1 接続について	19
3.2 ソフトウェアのインストール	20
3.3 フォーマットについて	21
3.4 メディアのセットと取り出し	22
3.5 本製品を取り外す場合は	23
第4章 Macintosh の場合	25
4.1 接続とインストール	25
4.2 MO メディアのフォーマット手順	28
4.3 メディアのセットと取り出し	31
4.4 本製品を取り外す場合は	32
第5章 補足事項	33
5.1 トラブルシューティング	33
5.2 AC アダプタを使用する際の注意点	36
5.3 保守とその他	37
5.4 メディアID について	38
ハードウェア仕様	39

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かには注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。

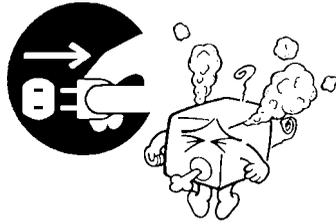


塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

万一、異常が発生したとき。

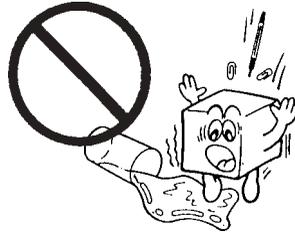
本体から異臭や煙が出た時は、ただちにUSBケーブルをパソコンから取り外すか、またはACアダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。

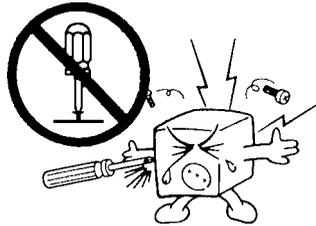
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。

万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。

ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で

使用してください。

ACアダプタを使用する場合は必ず弊社純正のものを使用し、AC100Vのコンセントに接続してください。



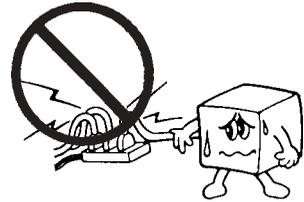
ケーブル類を大切に。

USBケーブルまたは別売りのACアダプタのケーブルは破損しないように十分ご注意ください。ケーブル部分を持って抜き差ししたり、ケーブルの上にものを乗せると、被服が破れて感電/火災の原因となります。



⚠ 注意

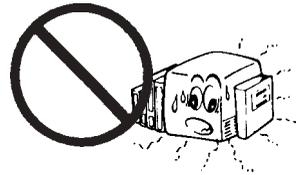
ACアダプタを使用する場合は、なるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。



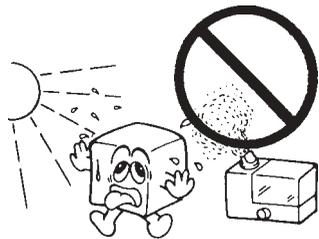
ケーブル類は必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



通風孔はふさがないでください。過熱による火災、故障の原因となります。



高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。

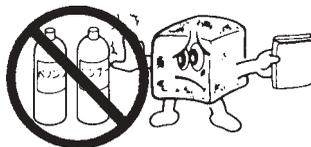


本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



⚠ 注意

本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



本製品を長期間使用しない場合は、USBケーブルパソコンから外し、ACアダプタを使用する場合はACアダプタをコンセントから抜いておいてください。





ご注意

当社 DOS/V 対応製品は、一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。

そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

付属品の確認

MO ユニット	1 台
USB ケーブル (USB 2.0 High-Speed 対応)	1 本
横置き用ゴム足	1 シート
「LogitecWare」CD-ROM	1 枚
MO ユニット・ユーザーズマニュアル	本書
イジェクトツール	1 個
保証書	1 枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には、必ず付属の梱包材をご使用ください。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。
Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

第1章 製品のご紹介

1.1 製品の特徴

本製品はUSBバスパワーによる電源供給に対応した、USB Full-Speed、ポータブルタイプの外付け型MOユニットです。

本製品の特徴

バスパワーに対応し、パソコンのUSBポートより直接電源の供給を受けます。ACアダプタを接続する必要がありませんのでスッキリと収納できます。

インターフェースとしてUSBを採用していますので、ケーブルを差し込むだけの簡単な接続で使用可能です。また、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONになっている状態での着脱)が可能ですので、パソコン間でのデータ交換を容易に行うことができます。

世界標準のISO規格に準拠するMOメディアを使用できます。(使用可能なMOメディアの容量やタイプについては、次ページをご参照ください。)MOメディアの判別は自動判別で行なわれます。

コンパクトなボディは携帯性に優れ持ち運びに最適です。

Windows/ Macintosh どちらの環境でも使用することができます。

放熱性と堅牢性を兼ね備えたアルミボディを採用しています。



重要なご注意

- ・パソコン本体やインターフェースボード(カード)、USBハブの仕様によってはUSBの電源供給性能の問題からバスパワーで動作しない場合がございます。その場合は別売りの弊社製ACアダプタ「LA-8W5S-02」をご使用ください。
- ・スリープモード・サスペンドモードなどのような省電力モードは未サポートとなっています。

1 . 2 使用環境について

対応パソコンについて

本製品は以下のパソコン本体に接続して使用することができます。すべてUSBポートを搭載した機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	
	eMac
	iBook
	iMac
	Power Mac G5
	Power Mac G4
	Power Macintosh G3 (Blue and White)
	PowerBook G3 (Bronze Keyboard)
	PowerBook (FireWire)
	PowerBook G4

対応 OS について

本製品は以下の OS で使用することができます。すべて日本語 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社	
	Windows XP Home Edition/Professional
	Windows Me
	Windows 98 (Second Edition を含む)
	Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社	
	Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2 まで
	Mac OS X 10.0.4 以降

1.3 使用可能なメディアについて

本製品では、下表で のついたMOメディアを使用することができます。

機種名		LMO- PBA630U
128MB	標準	
	OW	
230MB	標準	
	OW	
540MB	標準	
	OW	
640MB	標準	
	OW	
1.3GB	標準	x
	OW	
2.3GB	標準	x
	OW	

- = 使用可能 x = 使用不可
- = 使用可能ですが、書き込み速度は、通常のMOディスクと同等になります。
- = このタイプは現在発売されていません。



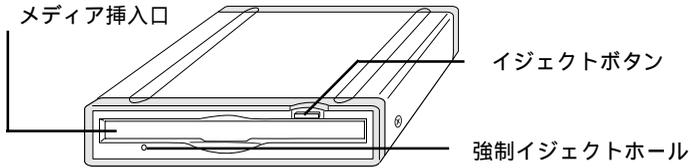
ご注意

- ・他のMOユニットとのデータ交換には、128MBのMOメディアは使用しないでください。(この用途は保証範囲外とさせていただきます。)
これは128MBのMOユニットには、初期のドライブを使用した製品があり、レーザー光の強度が本製品と異なる可能性があるためです。データ交換には、230MB以上のMOメディアをご使用ください。

1.4 各部の名称と機能

1

本製品前面



メディア挿入口

MOメディアをセットする部分です。

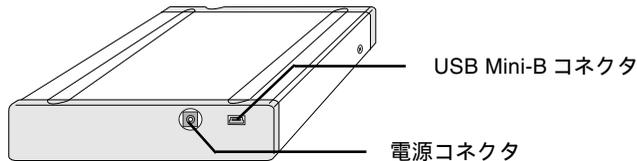
イジェクトボタン（電源表示ランプ/アクセス表示ランプ）

MOメディアを取り出したい場合に使用します。また、このボタンには電源表示ランプ、アクセス表示ランプの機能もあり、本製品に電源が投入されると内部ランプが点灯し、本製品にセットされたMOメディアにアクセスが行われる時に点滅します。

強制イジェクトホール

何かの原因でMOメディアが取り出せなくなったときに使用します。詳細については第5章の「5.1 トラブルシューティング」をご参照ください。

本製品背面



USB Mini-B コネクタ

付属のUSBケーブルでパソコン本体のUSBポートと接続します。

電源コネクタ（出荷時には目隠し板がはめ込まれています。）

バスパワーでの電源供給ができない仕様のパソコンの場合、ここに別売りのACアダプタを接続してください。本製品用のACアダプタは以下の型番で弊社より発売されています。

型番： LA-8W5S-02

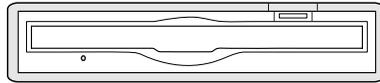


ご注意

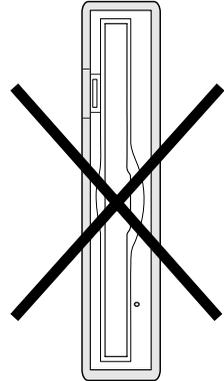
本製品には電源スイッチがありません。接続すると自動的に電源が供給されます。

1.5 設置方向について

本製品は下図のように横置きで設置してご使用ください。間違った方向で設置するとトラブルの原因となる場合があります。

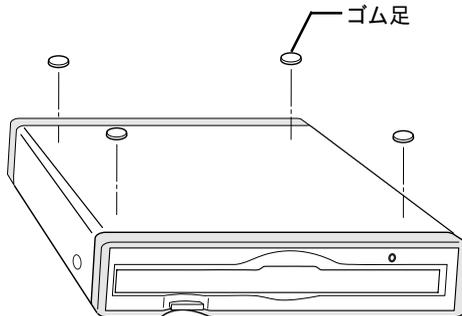


正しい設置方向



縦置きでは使用
できません!

本製品設置時は、底面の4箇所に付属のゴム足を貼付してください。



上図は底面を上にするため、
設置方向と逆になっています
ので、ご注意ください。

第 2 章

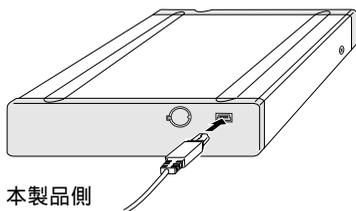
Windows® Me , 98 の場合

2 . 1 接続について

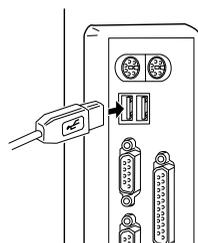
本製品の接続は以下の手順で行います。

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動してください。

システム起動が完了したら、付属の USB ケーブルを使用して本製品と、パソコン側の USB ポートを接続してください。



本製品側
小さいコネクタ

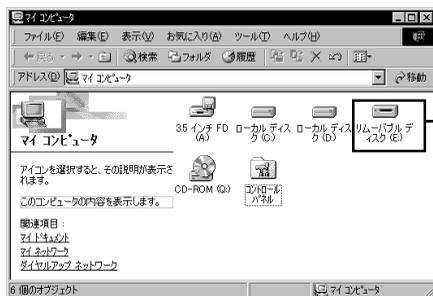


パソコン本体側
大きいコネクタ

以上で接続は終了です。

Windows 98 では、この後本製品付属のドライバをインストールします。
「2 . 2 ドライバのインストール」へお進みください。

Windows Me では自動的に電源が供給され Windows 標準のドライバが組み込まれます。「マイコンピュータ」上に以下のアイコンが追加されたら使用可能です。



本製品のアイコン
(ドライブ名は異なる
場合があります。)

本製品にフォーマットされた MO メディアをセットして、このアイコンをダブルクリックすると、セットした MO メディアにアクセスすることができます。

MO メディアのフォーマットについては、2 . 3 節をご参照ください。

2.2 ドライバのインストール

(Windows 98 のみ)

本製品がプラグ&プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。



「次へ」をクリック

右のウィンドウが表示されます。



1. 「使用中のデバイスに・・・」が
選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック

右下のウィンドウが表示されたら、CD-ROM ドライブに本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM をセットしてください。



1. 「検索場所の指定」だけがチェック
された状態にして

2. ここに、以下のように入力して

Q:¥DRIVERS¥LMOPBA630U¥WIN98

3. 「次へ」をクリック

Point

ポイント

ここで「Q:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。

右のウィンドウが表示されます。

「次へ」をクリック



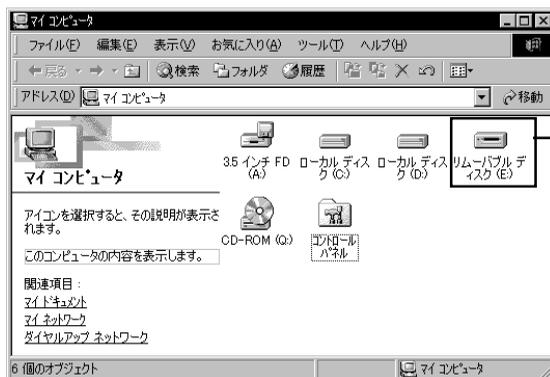
必要なファイルがシステムに転送され、右のウィンドウが表示されます。

「完了」をクリック



以上で作業は終了です。

マイコンピュータ上に下のような新しい「リムーバブルディスク」のアイコンが登録されていたら、ドライバのインストール、および本製品の接続は正常に完了しています。



本製品のアイコン
ドライブ名は異なる
可能性があります。

本製品にフォーマットされた MO メディアをセットして、このアイコンをダブルクリックすると、セットした MO メディアにアクセスすることができます。
MO メディアのフォーマットについては、2 . 3 節をご参照ください。

2.3 ソフトウェアのインストール

本製品には、MOメディアを使用する上で必要なソフトウェアが添付されています。本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」と「イジェクトコントローラ」をそれぞれインストールしてください。

ディスクフォーマッタのインストール

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。
2. 「セットアップの起動」をクリックします。



イジェクトコントローラのインストール

1. 「イジェクトコントローラ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。
2. 「セットアップの起動」をクリックします。



参考

「Logitec Ware」CD-ROM内にはこの他にもデータをフォルダ単位でバックアップ可能な「フォルダミラーリングツール」や、MOメディアの複製を作成する「MOデュプリケータ」等、便利なソフトウェアが収録されています。必要に応じてご活用ください。

2.4 フォーマットについて

フォーマットとは、メディアを初期化し、データの読み書きができるようにメディア内部の形を整える作業のことです。この形を、**フォーマット形式**と呼びます。フォーマット形式は、例えばWindowsとMacintoshなど、OSにより使用できる種類が異なります。

MOメディアやハードディスクなどの記憶装置は、ご使用のOS環境にあった形でデータの読み書きを行う前にフォーマットする必要があります。

本製品をご使用の場合、MOメディアのフォーマットは付属のソフトウェア「Logitec ディスクフォーマッタ」を使用して行います。

既にご使用のOS環境にあった形でフォーマット済みのメディアを購入されている場合、この作業は必要ありません。

「Logitec ディスクフォーマッタ」の起動方法

インストール終了後、ディスクフォーマッタを起動する場合は、「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」 「Logitec」 「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。（デフォルトの状態ですインストールした場合）



フォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。

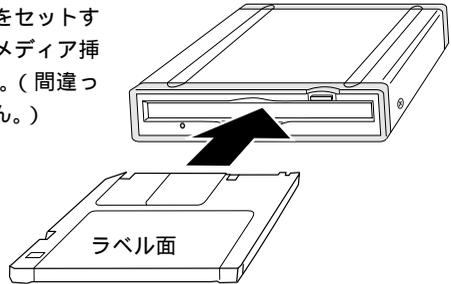


ご注意

フォーマットを行うと記録されているデータはすべて消去されます。フォーマットを開始する前に、メディア内にデータがあるかどうか、また、ある場合は消去しても良いかどうかを事前にご確認ください。

2.5 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



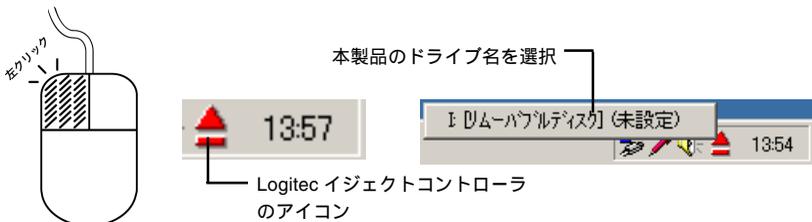
ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

MOメディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitec イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。

「Logitec イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。

本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはWindowsのシステムが起動していないときに使用します。Windows稼働中は使用しないでください。

2 . 6 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「USB ディスク - ドライブ (d:) の停止」、もしくは「FUJITSU MCxxxxxUA を止める : ドライブ (d:)」を選択してください。



Point

ポイント

ここで「d:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。また、「xxxxx」には本製品内蔵ドライブの型番が入ります。

デバイスを安全に取り外すことができることを示すメッセージが表示されたら、OK ボタンをクリックしてください。

USB ケーブルをパソコンから取り外します。

第3章 Windows® XP , 2000 の場合

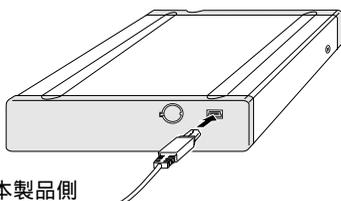
3.1 接続について

Windows XP , 2000 では以下の手順で本製品の接続を行います。

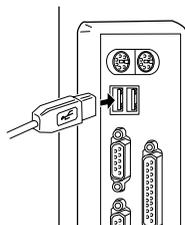
Point

パソコン本体の電源を ON にして、Windows のシステムを起動し、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators グループ」としてログオンしてください）。

付属の USB ケーブルを使用して本製品とパソコン側の USB ポートを接続してください。

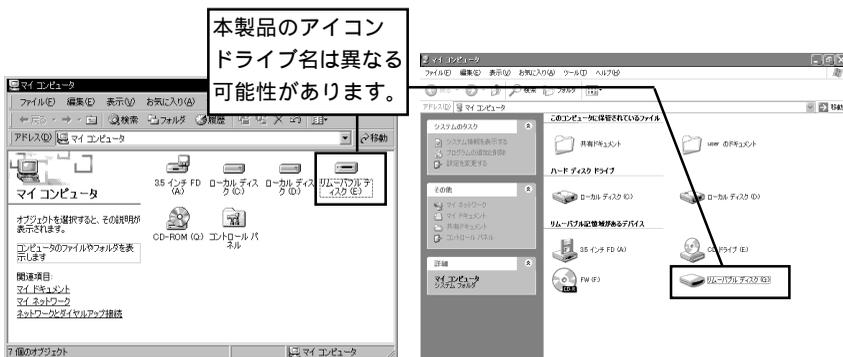


本製品側
小さいコネクタ



パソコン本体側
大きいコネクタ

以上で接続は終了です。この後、自動的に電源が供給され Windows 標準のドライバが組み込まれます。「マイコンピュータ」上に以下のアイコンが追加されたら使用可能となります。



Windows 2000 の場合

Windows XP の場合

本製品にフォーマットされた MO メディアをセットして、このアイコンをダブルクリックすると、セットした MO メディアにアクセスすることができます。

MO メディアのフォーマットについては、次節をご参照ください。

3.3 フォーマットについて

フォーマットとは、メディアを初期化し、データの読み書きができるようにメディア内部の形を整える作業のことです。この形を、**フォーマット形式**と呼びます。フォーマット形式は、例えば Windows と Macintosh など、OS により使用できる種類が異なります。

MOメディアやハードディスクなどの記憶装置は、ご使用のOS環境にあった形でデータの読み書きを行う前にフォーマットする必要があります。

本製品をご使用の場合、MOメディアのフォーマットは付属のソフトウェア「Logitech ディスクフォーマッタ」を使用して行います。

既にご使用のOS環境にあった形でフォーマット済みのメディアを購入されている場合、この作業は必要ありません。

「Logitech ディスクフォーマッタ」の起動方法

インストール終了後、ディスクフォーマッタを起動する場合は、「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「(すべての)プログラム」 「Logitech」 「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitech ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態ではインストールした場合)



フォーマッタが起動したら、MOメディアのフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。

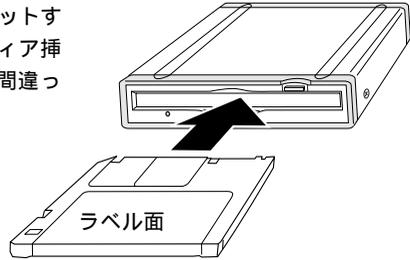


ご注意

フォーマットを行うと記録されているデータはすべて消去されます。フォーマットを開始する前に、メディア内にデータがあるかどうか、また、ある場合は消去しても良いかどうかを事前にご確認ください。

3.4 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



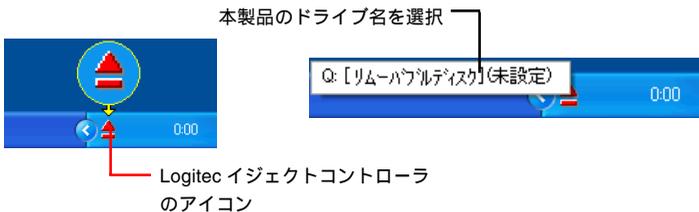
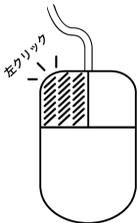
ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

MOメディアの取り出しは、付属のソフトウェア「Logitech イジェクトコントローラ」を使用して行ってください。

「Logitech イジェクトコントローラ」はインストール後タスクトレイに常駐します。

本製品を接続した状態で、このアイコンを左クリックし、本製品のドライブ名を選択してください。



この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

- ・本製品前面のイジェクトボタンはシステムが起動していないときに使用します。WindowsXP, 2000 が稼働中は使用しないでください。
- ・Windows XP, 2000 でMOメディアを取り出すには、管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administratorsグループ」)のメンバーとしてログオンする必要があります。

3.5 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。本製品を取り外す場合は、必ず以下の手順に従ってください。

本製品にMOメディアがセットされている場合は、これを取り出してください。

Windows XPの場合は「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (d:) を安全に取り外します」と表示されます。

この項目をクリック



このアイコンをクリック

Windows 2000では本製品を接続した状態では、タスクバーのシステムトレイに以下のようなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックして、表示されるメニューから、「USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブ (d:) を停止します」を選択してください。

この項目をクリック



このアイコンをクリック

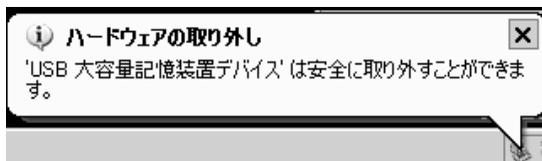
Point

ポイント

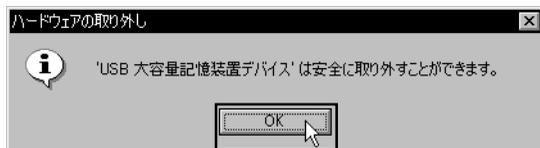
ここで「d:」は本製品のドライブ名ですので環境によって異なります。

3.5 本製品を取り外す場合は

Windows XPでは「'USB 大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます」とメッセージが表示されたら取り外し可能となります。(このメッセージは一定時間が経過すると自動的に消えるのでここでユーザーが作業を行う必要はありません。



Windows 2000では「'USB 大容量記憶装置デバイス'は安全に取り外すことができます」と表示されたら、OKボタンをクリックしてください。



OKボタンをクリック

USB ケーブルをパソコンから取り外します。

第4章

Macintosh®の場合

4.1 接続とインストール

ここでは Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 までをご使用の場合に、本製品のドライバをインストールして、本製品をパソコンに接続するまでの手順を説明します。ドライバのインストールは必ず本製品を接続していない状態で行ってください。

Point ポイント

ご使用の OS が Mac OS X の場合はパソコンに接続するだけで本製品が自動的に認識され使用可能な状態になります。本節の手順以降を参考にして本製品の接続を行ってください。

本製品を接続していない状態で、Macintosh のシステムを起動してください。

「LogitechWare」CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットしてください。

CD-ROM のウィンドウが開きますので、「Drivers」と書かれたフォルダをダブルクリックして開いてください。

このフォルダを
ダブルクリック



下のようにドライバフォルダの一覧が表示されます。一覧の中から「LMO-PBA630U」と書かれているフォルダをダブルクリックしてください。

「LMO-PBA630U」フォルダをダブルクリック



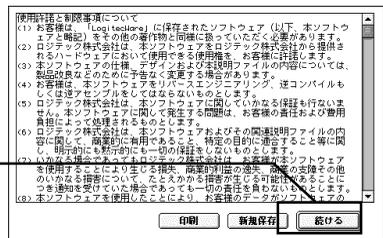
右のような画面が表示されるので、「ディスクドライバインストーラ」と書かれたアイコンをダブルクリックしてください。

この部分をダブルクリック



インストーラが起動して、使用許諾等が表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「続ける」をクリック



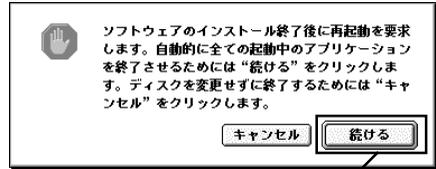
ドライバをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

特に支障ない場合は、そのまま「インストール」をクリック



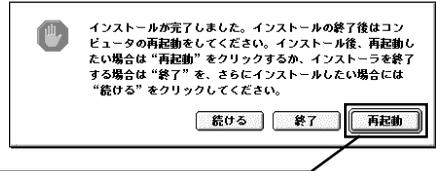
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック



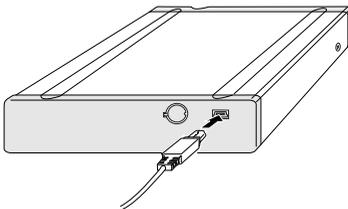
必要なファイルが転送されます。終了すると右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック

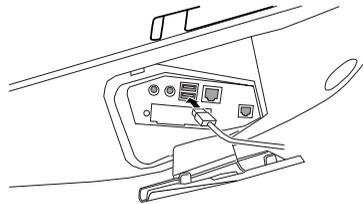


システムが再起動されます。再起動が完了したら、インストール作業は終了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。次に本製品の接続を行います。

付属のUSBケーブルを使用して本製品と、パソコン側のUSBポートを接続してください。



本製品側
小さいコネクタ



パソコン本体側
大きいコネクタ

自動的に電源が供給され本製品が認識されます。本製品にフォーマットされたMOメディアをセットすると、デスクトップ上にアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックするとメディアにアクセスすることができます。(MOメディアのフォーマットについては、4.2節をご参照ください。)

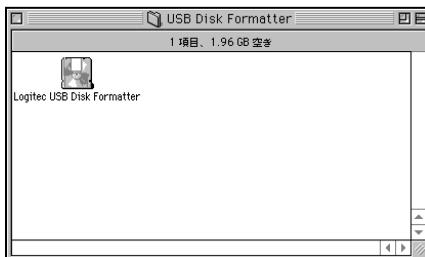
4.2 MOメディアのフォーマット手順



ご注意

Mac OS X では、ここで説明するフォーマッタソフト「Logitec USB Disk Formatter」は動作しません。OS 標準の「Disk Utility」をご使用ください。

本製品を接続した状態で、ドライバのインストール時に作成された「USB Disk Formatter」フォルダを開き、「Logitec USB Disk Formatter」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、右のウィンドウが開きます。ここで本製品にフォーマットしたいMOメディアをセットしてください。



セットされたMOメディアに関する情報が表示されます。

フォーマットされていないMOメディアをセットした場合は、「フォーマット」の欄に「不明」と表示されます。



内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。



参考

- ・「マウント」ボタンは、何かの原因でマウントされなかったMOメディアを強制的にマウントするものですが、フォーマット時には使用しません。
- ・「取り出し」ボタンは、本製品にセットされたMOメディアを取り出すためのものです。間違ったMOメディアをセットした場合などに使用してください。

右のウィンドウが表示されます。
必要に応じて設定等を行ってください。

MOメディアに名前をつけたい場合は、ここに入力します。

フォーマット形式を選択したい場合はこのプルダウンメニューを開きます。(下の「ポイント」参照)



設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。

Point

ポイント

「フォーマット」形式には、「Mac OS 標準」と「Mac OS 拡張」があります。データ交換などを目的とする場合は「Mac OS 標準」を、それ以外の場合は「Mac OS 拡張」をお勧めします。

Mac OS 標準

従来 of Macintosh シリーズでサポートされていた形式です。汎用性にはありますが、1.3GB などの大容量の MO メディアで選択すると、保管効率が悪くなります。

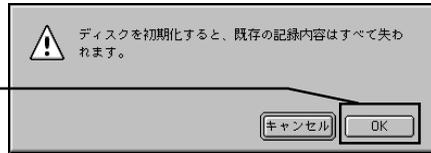
Mac OS 拡張

Mac OS 8.1 からサポートされた形式です。大容量の MO メディアを効率よく使用することができます。ただし、この形式でフォーマットすると、Mac OS 8.0 以前のシステムではアクセスできなくなります。

4.2 MOメディアのフォーマット手順

確認のメッセージが表示されます。

フォーマットしてもいいことを確認したら、OKボタンをクリックしてください。



フォーマットが実行されます。通常の場合、フォーマットは数秒で終了し、右のウィンドウに戻ります。

フォーマット形式が選択したものになっていることを確認してください。



確認が終了したら、「取り出し」ボタンをクリックして、MOメディアを取り出してください。

以上でMOメディアのフォーマットは終了です。メニューバーの「ファイル」メニューから「終了」を選択して、フォーマットを終了してください。

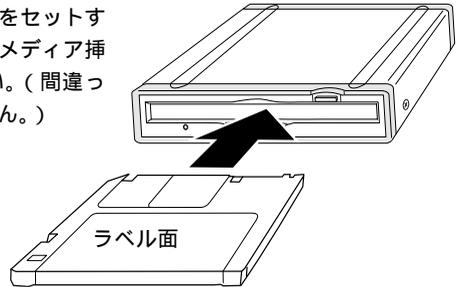


参考

一度上記の手順でフォーマットを行ったMOメディアを再フォーマットする場合は、「特別」メニューの「ディスクの初期化」を使用することも可能です。

4.3 メディアのセットと取り出し

本製品にMOメディアをセットする場合は、右図の方向でメディア挿入口に挿入してください。(間違った方向では挿入できません。)



ご注意

本製品にはMOメディア以外のメディアは挿入しないでください。フロッピーディスク等を無理に挿入すると機器を損傷します。

Mac OS上でMOメディアを取り出したい場合は、デスクトップ上にマウントされたMOメディアのアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねてください。

この操作を行うと、MOメディアが1cmほど排出されますので、静かに引き出してください。



ご注意

本製品前面のイジェクトボタンはMac OSが起動していないときに使用します。Mac OS稼動中は使用しないでください。

4 . 4 本製品を取り外す場合は

本製品はインターフェースとしてUSBを採用しているため、ホットプラグ(パソコン本体の電源がONの状態での取り付け・取り外し)が可能です。しかし、これは「いつでも取り外して良い」という意味ではありません。取り外し時には以下のような点にご注意ください。

本製品にMOメディアがセットされているときは、取り外しは行わないでください。本製品を取り外す前にMOメディアを取り出してください。

パソコン本体がスリープ状態になっているときは、取り外しを行わないでください。

本製品を取り外す場合は、USBケーブルのパソコン本体側のコネクタを先に外してください。

第5章 補足事項

5.1 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。
本製品を USB ハブ経由で接続している場合は、パソコンの USB ポートに直接接続して試してみてください。
パソコンの仕様によってはバスパワーで十分な電力を供給できない場合がございます。バスパワーでの電源供給がうまくいかない場合は、別売りの AC アダプタを本製品背面の電源コネクタへ接続してください。
AC アダプタを使用した場合の本製品の接続については、次の「5.2 AC アダプタを使用する際の注意点」をご参照ください。

MO メディアのアクセス時にエラーが発生する。

MO メディアは汚れていませんか？ ディスク・クリーニングを行ってください。
MO メディアの不良も考えられます。別のディスクで試してください。これで問題がなければ、エラーが発生する MO メディアのデータをバックアップして、再フォーマットを行ってください。

特定の MO メディアをアクセスできない。

その MO メディアはフォーマットされていますか？ 一般に MO メディアは物理フォーマット済みで発売されていますが、物理フォーマットのみではアクセスはできません。本書記載の方法でフォーマット（論理フォーマット）を行ってください。
MO メディアではスーパーフロッピーフォーマットの形式が一般的ですが、ハードディスク形式やアップルコンピュータ社の Macintosh シリーズ用にフォーマットされたディスクもあります。異なるシステムとデータ交換を行う場合には、スーパーフロッピーフォーマットの MO メディアを使用してください。（Macintosh シリーズでスーパーフロッピーフォーマットの MO メディアを使用するには、MacOS 標準のユーティリティ「PC Exchange」が必要です。）その MO メディアが本製品で使用できる容量のものかどうかを確認してください。使用可能な MO メディアについては、「1.1 製品の特徴」の「使用可能な MO メディア」をご参照ください。

MOメディアに書き込みができない。

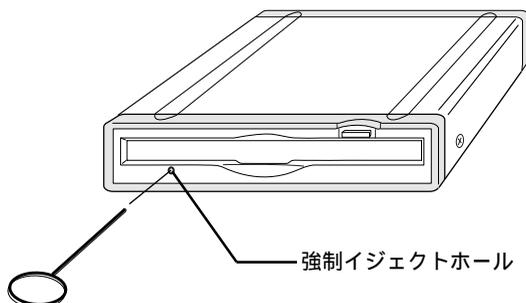
MOメディアのライトプロテクト・ノッチがプロテクト側に設定されていませんか？

MOメディアがイジェクトできない。

アクセス表示ランプが点灯していないか確認してください。アクセス中はイジェクトできませんので、アクセスが終了するまでお待ちください。

ソフトウェアの中には、MOメディアのイジェクトを禁止するものがあります。現在使用中のソフトウェアを終了して試してください。

上記の項目に当てはまらない場合、一度本製品の再接続、および電源の再投入を行って試してください。それでもだめな場合は、本製品の電源をOFFにして、付属のイジェクトツールを強制イジェクトホールに挿し込み、強く押してください。



5



ご注意

本製品の電源がONの状態では、強制イジェクトは行わないでください。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ(サスペンド)状態の処理方法により、このような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカーから供給されるアップデートプログラム等によりこの現象を回避できる場合もあります。

アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ(サスペンド)機能をOFFにしてご使用ください。

Macintosh 環境で本製品のドライバをアンインストールしたい。(Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 まで)

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

Logitech USB 102D Driver

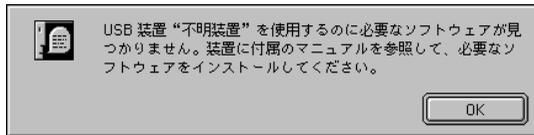
Logitech USB 102D Shim

特定のソフトウェア (ディスク修復ツールなど) で MO メディアを使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、動作対象がハードディスクのみになっている場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアが MO メディアを動作対象としているかどうかを確認してください。

一部のソフトウェアでは、動作中のディスク交換の問題などからインストール対象をハードディスクに限定している場合があります。ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

Macintosh シリーズで本製品を接続すると、
以下のようなエラーメッセージが表示される。



本製品のドライバがインストールされていません。第4章にしたがって、ドライバのインストールを行ってから、本製品を接続してください。

その他：弊社ホームページについて

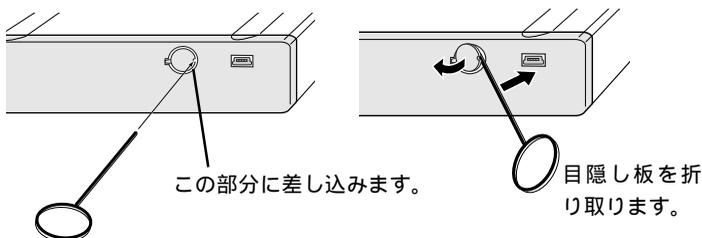
弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関する Q&A コーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF 形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス： <http://www.logitech.co.jp/>

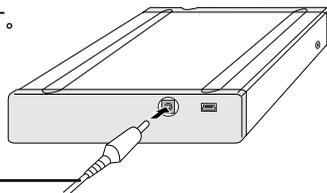
5 . 2 AC アダプタを使用する際の注意点

ACアダプタを使用する場合は、必ずUSBケーブルを接続する前に、本製品にACアダプタを接続し電源を供給してから、USBケーブルで本製品とパソコンの接続を行ってください。

はじめに付属のイジェクトツールを使い、目隠し板を下図のように取り除きます。

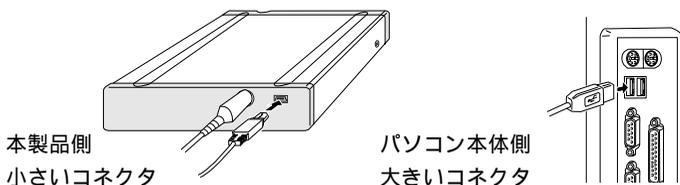


次に AC アダプタを接続します。



AC100V のコンセントへ

付属の USB ケーブルで本製品とパソコンを接続します。



本製品用の AC アダプタは以下の型番で弊社より販売されております。

型番： LA-8W5S -02



ご注意

セルフパワー動作時、バスパワー動作時共に、動作中の AC アダプタの抜き差しはぜったいに行わないで下さい。不要なりセットや動作異常を招き、データが消失する危険性があります。

5.3 保守とその他

メディアのクリーニングについて

MOメディアは別売のメディアクリーニングキットを使用してクリーニングすることができます。使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なりますが、定期的なクリーニングを推奨いたします。クリーニングの方法については、クリーニングキットの取扱説明書をご参照ください。

本製品用のメディアクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番：LMO-330-02

レンズ・ヘッドのクリーニングについて

空気中に浮遊するほこり、ちり、およびタバコの煙などが、本製品内部のレンズ・ヘッドに付着すると性能が低下することがあります。

本製品内部のレンズ・ヘッドは別売のレンズクリーニングキットを使用してクリーニングすることができます。使用環境/頻度によってクリーニングの時期は異なりますが、定期的なクリーニングを推奨いたします。クリーニングの方法については、クリーニングキットの使用方法をご参照ください。

本製品用のレンズ・ヘッドクリーニングキットは、以下の型番で弊社より販売されております。

型番：LMO-640-02

LA-8W5S-CKT (AC アダプタ付属タイプ)

本製品でレンズ・ヘッドクリーニングキットをご使用になる場合、必ずACアダプタが必要になります。通常は「LA-8W5S-CKT」をお求めください。別途ACアダプタを購入済みの場合は「LMO-640-02」をお求めください。



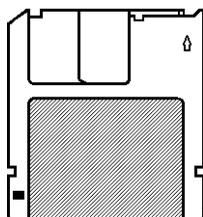
ご注意

- ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットを使用する場合は、ACアダプタを接続し電源を供給する必要があります。
 - ・ レンズ・ヘッドクリーニングキットは必ず弊社販売の「LMO-640-02」をご使用ください。市販のものを無理に使用すると、機器を損傷する場合があります。
-

MOメディアのラベルについて

MOメディアにラベルを貼付する場合は、必ず指定の位置に1枚だけ貼ってください。また、貼った後ではがれないようにMOメディアの両面をしっかりと押さえてください。(最近のラベルには再剥離可能なようにのりが弱いものもあります。そのようなラベルはできるだけ使用しないでください。)

不適切な位置に貼ったり、2枚貼りするとMOユニット内部でラベルがはがれて、MOメディアがイジェクトできなくなる恐れがあります。



裏面に回る部分がはがれやすいのでしっかり押さえます。

斜線の部分からはみ出さないように貼ります。

5.4 メディアIDについて

本製品は「メディアID」機能に対応しています。以下のロゴマークはメディアID機能対応を示すものです。



メディアIDとは、メディアID対応のMOメディアに著作権保護の目的で記録された変更不可能な固有の番号です。今後ブロードバンドコンテンツ配信サービスなどで、メディアIDを前提とした著作権保護が施されたコンテンツの配信が予定されますが、このようなコンテンツを保存/再生するには、メディアIDに対応したMOメディアおよびMOドライブが必要です。詳細についてはインターネット上の弊社Webサイトをご参照ください。

本製品のメディアID機能を使用するためにはドライブが必要となります。メディアID対応ドライブは、付属のCD-ROM「LogitecWare」内に収録されています。また、最新バージョンについては、弊社Webサイトにて公開中です。

ハードウェア仕様

機種名	LMO- PBA630U		
メディアタイプ	3.5 型 MOメディア *1		
ディスクあたりの記憶容量	640MB / 540MB 230MB / 128MB		
ディスク回転数	3000 rpm		
インターフェース	USB 2.0 Full- Speed (従来のUSB 1.1互換)		
コネクタ形状	USBシリーズ mini - B		
最大データ転送速度	12 Mbps (USB Full- Speed) *2		
平均シークタイム	43 ms		
キャッシュメモリ	2 MB		
環境条件 *3	動作時	温度	10 ~ 35
		相対湿度	20 % ~ 80 %
	保管時	温度	- 10 ~ 50
		相対湿度	10 % ~ 85 %
入力電圧	DC + 5V *4		
消費電力 (定格)	2.5 W		
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	108.3 × 23.6 × 143.2 mm *5		
質量	410 g *5		
設置方向	水平 *6		

*1 対応メディアについては本書の 1 . 3 節参照。

*2 理論値。

*3 ただし結露なきこと。

*4 USB ポートより供給

*5 本体のみ

*6 縦置きでの使用不可

LMO-PBA630U V03

